

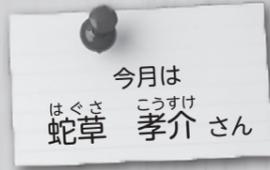
つむぐ通信

シリーズ連載 その91

「つむぐ通信」では、地域おこし協力隊員が、月替わりで活動内容やイベントなどのお知らせ、地域おこしに関する企画や提案を紹介していきます。

【江田島市地域おこし協力隊】

空き家活用ディレクター 蛇草 孝介
 国際交流支援員 大方 芳恵
 えたじま里海ナビゲーター 守本 怜矢
 観光事業総合プランナー 竹林 健一



facebookで情報を発信しています

江田島市地域おこし協力隊

プロジェクトにかかわってくれた方々、応援してくださる方々、いつもご利用いただいている方々、活動にご理解をいただいている地域の方々、本当にありがとうございます。最近はいイベントも目白押しで広島市内の方たちがイベントで使ってくださいたりと、とても賑わいを見せて

プロジェクトにかかわってくれた方々、応援してくださる方々、いつもご利用いただいている方々、活動にご理解をいただいている地域の方々、本当にありがとうございます。最近はいイベントも目白押しで広島市内の方たちがイベントで使ってくださいたりと、とても賑わいを見せて

一気に冬が到来しましたね。年末は空き家の改修で大忙しになりそうです。地域おこし協力隊の蛇草孝介です。

プライベートになりますが、今年から本格的に始めたSUPで、KIRIKUSHI PADDLERの 一員として大会に参加してきました。

広島市で行われた国際大会「RIZO DOO」は延べ200人を超える方が太田川を漕ぐというなかなか体験できないレースでした。実際に広島の色を見ながら、川を漕ぐのも楽しかったです。

肝心の結果ですが、なんとリレー部門で3位を獲得することができました！江田島でも今年は色々と大会が行われています。来年も積極的に参加したいと思っています。

空き家活用の新しい試みである、KIRIKUSHI COASTAL VILLAGEですが、1周年を迎えることが出来ました。3年がかりのプロジェクトになりましたが、1周年のイベントも100人以上の方にきていただき、盛況のうちに終えることができました。

現在は、「魚商かぐら」テナントも入り、飲食も行えるようになりまして。平日もお客さんで賑わっている日々が増えてきており、とても嬉しく思っております。まだまだ改修するべき場所がありますので、色々な人とかかわりあいながら、進めていければと思います。

また最近では講演会やメディア出演する機会をいただくことが増え、空き家の相談の話をいただくことが増えました。空き家のリノベーションを行うにあたって、改修のポイントや、費用の圧縮の仕方、運用など、前職でのスキルや江田島市で活動した経験がとて役に立っております。やってみなければ、費用どれくらいかわからない、費用どれくらいかかるのかな？など悩んでいる方がいらっしやいましたら、ぜひご相談ください。



空き家改修解現場



▲SUPリレー3位入賞で記念撮影



▲ライブイベントの様子



▲1周年イベントポスター

大柿町出身の井上さん。東日本大震災のボランティア参加から、エネルギーや食料問題に関心を持つ。課題解決に、市内の耕作放棄地でサツマイモ栽培を始めて今年で11年。全町で4ヘクタール、生産量は年間100トン。車体整備店「カーライフキューティ」も飛渡瀬で営業中。



▲スタッフの皆さん
 ▲イートインスペース

ETAJIMA
GoON!
 Vol.30
 峰商事合同会社 (大柿町)
 代表社員 CEO
 てくてくのさつまいも本舗
 いのうえ たかし
井上 峰志さん



▲あんことイモが半々に入ったあんぱんやバーガーなど、約50種類を販売

大柿町大原から移転、今年8月に柿浦交差点近くにグラントオープンした「てくてくのさつまいも本舗」。自家製で焼く壺や芋、紅はるかを使った二重焼きなどのスイーツに加え、手づくりパンの販売を開始した。県内外でも珍しいサツマイモ酵母の生地は、食べごたえと、なめらかさが特徴。定番の食パンやバゲット、菓子パンやバーガーなどの調理パンまで、焼きあがるたびに売れていく。

別事業の車体整備店「カーライフキューティ」店舗の近所に、パン職人の大下さんがいたことからベーカリー部門が実現。「サツマイモの商品と一緒に作っていったら」と、2、3年前から話をしてきた」井上さんの熱意が

おいしい新製品や開店カレンダーを更新中！ てくてくのさつまいもインスタグラムはこちらから

てくてくと、歩み続けて11年の軌跡

縁を紡いだ。「いいのができた」と、わずか1カ月でサツマイモ酵母を大下さんが実用化。設備や生産体制を整え、新店舗の盛況へと至った。

休日は市外利用者が7割程度だが、平日の割合は市内在住に転じる。若年から高齢者まで利用者層も幅広い。「地元でおいしいパンが食べられるので、ぜひ来ていただきたい。2階のイートインスペースも、お茶会とかで、いい時間を過ごしてもらえたら」と井上さん。近大付属高校のサツマイモプロジェクトへの協力や、鹿児島県の資材店を回った縁で現地に畑を借りサツマイモの病気の勉強など、行動範囲の広さに驚かされる。自らの足で縁を紡ぐ地道な努力が、今の成功の礎となっている。



▲「ぱんのみみ」「ぱん ひふみ」からの長年のファンも多い大下さん

※サツマイモプロジェクト…近大付属高校とハーバード大学による「食べる緑化」をゴールに生徒主体で計画推進するプロジェクト。

ETAJIMA GoON! (えたじまゴーオン) とは？ 市内で活躍する人やお店をリレー形式で紹介。掲載された人が次の取材先を紹介する、「つなぐ・つながる」がテーマの企画です。毎月中旬頃に更新のA3判(フルカラーPDF版)は写真・記事も増量でお届けします。(※撮影のため、マスクを外した写真を掲載しています)